



第112回 (最終回)

過去19年を振り返り、 イラン戦争から未来を見る



国際ビジネスコンサルタント
浜地道雄

ご愛読いただいていた拙稿“Global Business English File”は、今回でいよいよ最終回。

第1回 (2007年1月号)

「鬼門、『RとL』考」：日本人にとって鬼門の発音「RとL」を考えた記念すべき第1回。

以来、隔月ながら何と19年という長きにわたる連載に。誠に感慨深く、改めて感謝します。

英文法の解説というよりは、中東イスラム圏および米国(NYC)駐在でのビジネス体験を元に「異文化理解＝自分とは違うのだ」という観点で、いわば Trivia(トリビア)、つまり「へー、面白い!」と評価していただける読み物として、かつ国際ビジネスでお役に立てればというものを中心に書いてきた。

本連載のバックナンバーが全て読めます(日外協会員限定、要IDパスワード)。下記 URL または QR コードから。

「会員用メニュー」> 「月刊グローバル経営」データベース
連載タイトルや筆者名、掲載年などから検索可能!
ぜひご利用ください。

<https://joea.or.jp/membermenu/>



世に知られる^{くわ} 寓話からのビジネス・ヒントとしては、下記のような回がある。

*

第103回 (2024年9月号)

「Serendip 今に生きる1500年前のペルシャの物語」：ペルシャの王子たちの、単なる偶然ではない才気をもったの発見・発明が、2000年12月10日、ノーベル化学賞の授賞式で言及された。

第105回 (2025年1/2月合併号)

「The Great Sea-Serpent インターネットの基軸」：海蛇(アンデルセン)＝海底電線ケーブルは現在のインターネットの9割を占める経済安全保障のかなめである。

*

また、節目節目の記事もご一読いただければ幸甚です。

第20回 (2008年10月号)

「世界を変える Ticket」：米大統領選挙の仕組みの一つである、大統領候補と副大統領候補の組み合わせ。

第40回 (2012年4月号)

「『Jobsの本』と『Jobの本』」：アップルの創始者 Steve Jobs、それを新約聖書のヨブ記 Job になぞらえる。

第60回 (2016年1/2月合併号)

「新年に思う接頭辞『A』」：新年にあたりアルファベットの最初の文字 A にちなみ関連トリビア。

第80回 (2020年1/2月合併号)

「REIWA2 に思う温故知新」：令和2年新年に当たり、1993年1月の昭和天皇の孫、浩宮徳仁親王と小和田雅子嬢の結婚内定を振り返る。

第100回 (2024年1/2月合併号)

「新年にあたり Review と Prospect」：過去記事を振り返り、未来を見る。

*

さて、こうした感慨に浸っていたところに、世界は突然の大混乱。すなわち、トランプ米政権によるベネズエラ攻撃(1月3日)に続き、イラン攻撃(2月28日)が始まった。

拙稿は基本的に政治紛争・主張に踏み込むことは避けてきた。が、今回の米政権によるホルムズ海峡封鎖は世界石油エネルギー需給に直結する経済・ビジネス上の大問題だ。